

(3) 貸借対照表 貸借対照表は、一定時点(決算日)における資産、負債、基本金の内容と在高を明示して学校法人の財政状況を明らかにしています。

貸借対照表 平成31年3月31日

資産の部 (単位:百万円)				負債の部 (単位:百万円)			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,814	9,760	54	固定負債	608	671	△ 63
有形固定資産	7,922	8,184	△ 262	長期借入金	200	200	0
土地	1,023	1,023	0	退職給与引当金	320	383	△ 63
建物	5,284	5,538	△ 254	長期未払金	87	88	△ 1
構築物	296	306	△ 10	流動負債	595	563	32
教育研究用機器備品	346	359	△ 13	短期借入金	0	0	0
管理用機器備品	45	38	7	未払金	125	79	46
図書	909	898	11	前受金	436	450	△ 14
車両	19	22	△ 3	預り金	35	34	1
その他の固定資産	1,882	1,577	305	災害損失引当金	0	0	0
有価証券	20	20	0	負債の部合計	1,203	1,233	△ 30
退職給与引当特定資産	550	550	0	純資産の部			
減価償却引当特定資産	100	100	0	科目	本年度末	前年度末	増減
施設設備引当特定資産	1,026	726	300	第1号基本金	13,595	13,522	73
第3号基本金引当特定資産	176	176	0	第3号基本金	176	176	0
奨学寄付金引当特定資産	0	0	0	第4号基本金	148	148	0
その他	10	5	5	基本金の部合計	13,919	13,846	73
流動資産	1,106	1,293	△ 187	翌年度繰越収支差額	△ 4,202	△ 4,026	△ 176
現金預金	987	865	122	繰越収支差額の部合計	△ 4,202	△ 4,026	△ 176
未収入金	105	410	△ 305	純資産の部合計	9,717	9,820	△ 103
有価証券	0	0	0	負債及び純資産の部合計			
仮払金他	15	17	△ 2	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部合計	10,920	11,053	△ 133	負債及び純資産の部合計	10,920	11,053	△ 133

平成30年度末における固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)を合わせた資産の部合計は10,920百万円で、建物や教育研究用機器備品の償却が進んだことにより、前年度末と比べて133百万円減少しました。

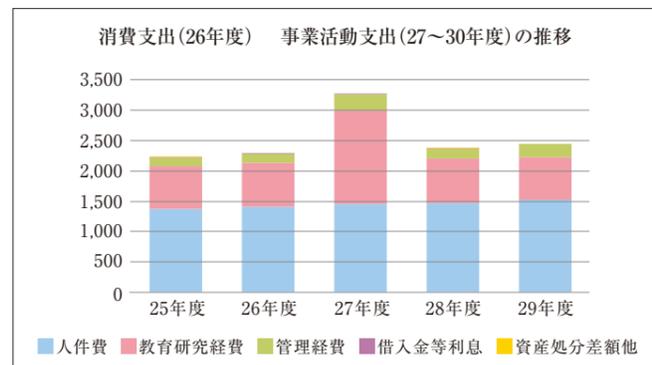
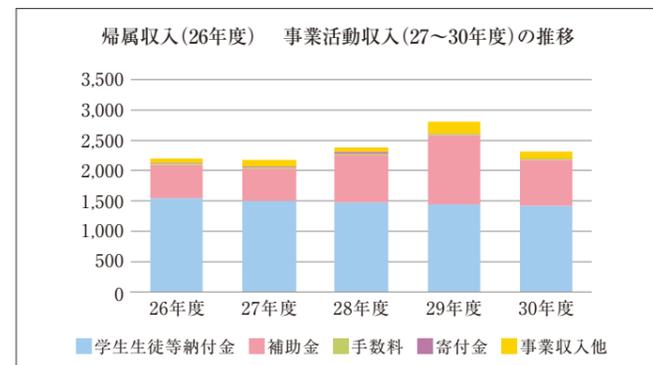
一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,203百万円となり、前年度末と比べて30百万円減少しました。これは退職給与引当金の減少が主な要因です。

平成26年度の「消費収支」

収入の部	平成26年度
学生生徒等納付金	1,546
補助金	544
手数料	26
寄付金	18
事業収入他	67
帰属収入合計	2,201
基本金組入額合計	△ 134
消費収入の部合計	2,067
支出の部	平成26年度
人件費	1,354
教育研究経費	704
管理経費	137
借入金等利息	2
資産処分差額他	2
消費支出の部合計	2,199
当年度消費支出超過額	132

平成27年度からの「事業活動収支の推移」

収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生生徒等納付金	1,504	1,482	1,443	1,418
経常費等補助金	532	770	1,144	760
手数料	26	23	23	20
寄付金	15	35	6	4
付随事業収入+雑収入	94	72	66	104
事業活動収入計	2,173	2,386	2,802	2,317
基本金組入額合計	△ 315	△ 25	△ 39	△ 75
支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費	1,397	1,434	1,443	1,500
教育研究経費	717	1,528	733	696
管理経費	145	269	158	224
教育活動外支出	1	1	0	0
特別支出	0	0	4	0
事業活動支出計	2,260	3,232	2,338	2,420



2. 事業報告の概要

学校法人 尚綱学園

(1) 組織・運営態勢改革

- ①理事会等での協議検討、意思決定事項の周知を機動的かつ適切・着実に実施。
- ②新認証評価システムに基づき内部質保証システムに関する研修会を実施。

(2) 財政改革

- ①財務実績及び財務諸比率の経年比較、中期財務計画の進捗状況を検証し、全教職員の理解・認識共有のための研修会を開催。
- ②尚綱学園創立130周年記念募金第1期(2018/4~2021/3)募集を開始。

(3) 人事・人材改革

- ①教職員のスキルアップを考慮した上で互換性向上に繋がる人事異動を実施。
- ②教職員の資質・能力向上を図るため、計画的・積極的に学内外の研修を実施及び参加。

(4) 環境整備改革

- ①学生・生徒の通学などの利便性向上のため、シャトルバスの運行を開始。
- ②中学・高校及び大学・短大の両キャンパスに無線LANを導入。

(5) 創立130周年記念事業

- ①文化事業として、記念シンポジウム、親子3代表彰・座談会、芸術鑑賞会(オペラ)を開催。
- ②記念刊行物として、「礎」創立130周年記念特集号を発行。
- ③「尚綱学園創立130周年記念募金」-教育・研究の施設、設備充実のための募金を開始。
- ④マスコットキャラクターの制定、記念ホームカミングデイの開催、記念商品の開発・販売。

尚綱大学・尚綱大学短期大学部

(1) 教育

- ①授業改善アンケートを実施、学生からの意見を集約、またオープンクラスウィーク(教職員による講義相互参観)を実施。
- ②食品衛生管理者及び食品衛生監視員任用資格の設備環境を整え、行政許可を取得。

(2) 学生支援

- ①安全で快適な環境整備のため、学生寮(如蘭学寮)の改修、リフォーム等を実施。
- ②キャリア形成・就職支援活動の充実のため、尚綱アリーナにて、合同企業説明会を開催。

(3) 研究

- ①研究倫理に関する、規程類の整備を完了し、コンプライアンス教育を実施。
- ②研究活動の活性化支援として、科研費申請書作成の講習会を開催。

(4) 地域連携・社会貢献

- ①産学官民と連携して、子育て研究・食育研究・ボランティア支援等に係る講演会・研修会・情報交換会を開催。
- ②社会貢献として、サマーセミナー・尚綱公開講座・現代文化学部公開講座等を開催。

(5) 国際交流

- ①新たな海外の教育機関との連携として、南方大学学院(マレーシア)・上海杉達学院(中国)・高雄大学(台湾)と交流協定を締結。

(6) IRと自己点検・評価

- ①IR機能の強化として、学外研修会に参加し、内部質保証システムに関する研修会を開催。

尚綱中学・高等学校

(1) 教育

- ①礼法教育の推進として、マナー検定上級資格を高校3年生の全員が合格。
- ②基礎学力の確立のため、習熟度別に希望制朝課外及び小論文課外等を実施。
- ③国際交流の推進として、選択制の海外修学旅行や韓国姉妹校(韓国鶴城女子中学校)との交流、留学セミナーを開催。
- ④中高大連携の推進として、尚綱大学各学部の出前講義及び学部・学科説明会を実施。

(2) 生徒支援

- ①進路指導充実のため、外部研修会等に参加し、保護者や生徒へ進路情報を提供。
- ②教育相談充実のため、生徒との個人面談、保護者との教育座談会を実施。

(3) 地域貢献

- ①尚綱アリーナにて、外部の小・中・高校生と合同練習会や各種大会を開催。
- ②ボランティア活動の推進として、熊本城マラソンボランティアに約100名の生徒が参加。
- ③学校主催事業として「尚綱杯ソフトテニス大会」等を開催した他、協力事業として「第1回みなみ阿蘇野の花コンサート」等に参加。

尚綱大学短期大学部附属こども園

(1) 教育

- ①環境整備として、乳幼児用の滑り台の設置、支援の必要な園児の教材備品を整備。
- ②食育活動の推進として、季節に応じた種まき・苗植え・栽培・収穫・調理体験を実施。

(2) 保護者支援

- ①保護者への子育て支援として、地域ボランティア外部講師による講演会や担当職員・短大教員による子育て相談、情報提供を実施。
- ②健康管理の徹底として、内科・歯科検診、尿検査及び園内の衛生検査等を実施。

(3) 保育の指導力向上

- ①園内研修や外部の各種研修会に参加し、教育・保育の指導力向上に繋がる取組みを実施。
- ②短大と連携して、教育実習の指導内容の確認と研究課題に向けた検討会を実施。

(3) 地域連携

- ①地域・世代間交流の推進として、地域の老人会等と餅つき・昔あそび等を実施。
- ②幼小連携の推進として、卒園児の在籍校を訪問し、すべての行事や連絡会に参加。